相山古墳
墳丘上の埴輪は、地区の方によって並べられたものです。

相山古墳出土埴輪
円筒埴輪や人物などを真しん太郎象埴が見つかっています。

勾玉（左:東広畑古墳／右:東新田古墳）
東広畑古墳のものはガラス製でめずらしいものです。

高橋古墳群出土鉄剣
4号墳から出土したと伝わり、長さが51cmあります。

矢口遺跡出土帯金具
古代の役人のベルトの一部です。

林谷遺跡出土土器
竪穴住居から出土した古墳時代後期から飛鳥時代の土師器です。

弥生時代末の器台や高坏などの土器が出土しています。

中溝遺跡出土土器

東広畑古墳出土円筒大刀柄頭
象嵌で鳳凰の文様が配されています。

おすすめ探訪コースをご利用になるみなさまへ

この埋蔵文化財マップには、福崎町の歴史や文化財に触れ、町の再発見のきっかけになるような4つのおすすめ探訪コースを掲載しています。

Ⓐ 山崎地区コース　初級
Ⓑ 福田・高岡コース　上級
Ⓒ 神積寺周辺コース　中級
Ⓓ 八千種コース　上級

魅力ある文化財に触れながら、福崎町のまち歩きを楽しんでみませんか？

フクちゃん

※この探訪コースでは、主な文化財を掲載しています。全ての文化財を網羅しているものではありません。
※所要時間は、スタート地点からそれぞれの文化財を巡り、スタート地点に戻る目安の時間を記しています。文化財を見学する時間が含まれたものではありません。

注意事項
- ●文化財所有者の迷惑にならないよう、十分に配慮してください。
- ●個人の敷地に許可なく立ち入らないでください。
- ●神社・寺院の境内や史跡等、文化財のある場所、その周辺においては、火気の取扱いや喫煙などの行為はしないでください。
- ●足元の悪いところがありますので、歩きやすい履物でお越しください。
- ●車などに十分注意し、事故に遭わないようお気を付けください。
- ●万一、散策中に事故等があった場合、町では責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●自然を守り、植物などの採集はしないでください。
- ●ごみは必ず持ち帰りましょう。
- ●文化財は大切にしましょう。

ダキちゃん

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

〜地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助〜

文化財を「知ろう!」・「楽しもう!!」

福崎町教育委員会では、開発等に伴ってその下に遺跡が眠っていないか確認するための調査を行っています。もし、遺跡が開発等によって影響を受ける場合、記録保存のための発掘調査を行います。発掘調査で得られた成果は展示や図録で公開しているほか、出土した土器などの遺物を直接手に取って体感していただくための「まちづくり出前講座」を開講し、町民のみなさんが知りたいこと、聞きたいことを職員が出向いて説明する取り組みを行っています。また、町内の5･6年生を対象とした「ふくさき歴史体験隊」でも、勾玉づくりや火起こし体験などを通して、楽しみながら文化財に触れる機会としています。

ぜひともご活用いただき、地域の歴史・文化に触れてみてください。

【大地に埋もれた歴史:古墳めぐり】

【文化めぐりin福崎町:出前講座】

【発掘調査・現地説明会】

[ふくさき歴史体験隊]

火起こし体験

発掘体験

福崎町[文化財施設]

神崎郡歴史民俗資料館（県指定文化財 旧神崎郡役所）
兵庫県神崎郡福崎町西田原1038-12
TEL.0790-22-5699
●休館日：月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日(土・日の場合は開館)

柳田國男・松岡家記念館
兵庫県神崎郡福崎町西田原1038-12
TEL.0790-22-1000
●休館日：月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日(土・日の場合は開館)

大庄屋 三木家住宅（県指定文化財）
兵庫県神崎郡福崎町西田原1106
TEL.0790-23-0033 ※開館日以外は福崎町 教育委員会社会教育課 TEL.0790-22-0560
●土・日・祝のみ開館(11月は月曜日・祝日の翌日以外開館)

■発行／福崎町教育委員会 社会教育課 文化財係
〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1 TEL.0790-22-0560

福崎町の歴史

福崎町内では、旧石器から近世の遺跡が知られています。旧石器時代では、南田原桶川遺跡からナイフ形石器が知られているほか、西広畑遺跡・大門遺跡から石器が出土しています。縄文時代になると、草創期の有舌尖頭器が南田原の西光寺で採集され、前期の土器が西大貫遺跡・加治谷大堀内遺跡で、後期の土器は西田原穴田遺跡・加治谷藪下五反畑遺跡で確認されています。晩期になると大門岡ノ下遺跡で竪穴住居が確認されており、石棒が出土しています。主な弥生時代の遺跡では、西治下代ノ下モ遺跡や上大明寺遺跡等から竪穴住居が検出されています。

西光寺採集有舌尖頭器

上大明寺遺跡からはガラス玉や未製品の石器が出土しているほか、辻川山山麓にある宮山遺跡からは中期の土器棺が確認され、北野寺西遺跡では円形周溝墓が検出されています。朝谷遺跡からは後期の土器棺が見つかっています。中溝遺跡や南田原長目遺跡からは他地域との交流を示す土器が出土しています。古墳時代では、前期古墳は確認されていませんが、中期は高橋古墳群があり、鉄剣が出土したと伝わります。町内で確認されている古墳のほとんどは後期古墳で、旧神崎郡の中でも最大級の石室を持つ妙徳山古墳をはじめ、銀象嵌装大刀が出土した東広畑古墳・東新田古墳、町内で唯一埴輪を持つ相山古墳等があります。集落跡では後期の住居跡が確認されています。カマド付きの竪穴住居が確認された加治谷藪下五反畑遺跡・林谷遺跡等があり、高岡地区では飛鳥時代、奈良時代まで集落が継続することが明らかになりつつあります。矢口遺跡からは帯金具が出土しており、郡衙関連遺跡が所在していた可能性も示します。福田無量寺跡では多量の瓦が発見され、古代寺院の可能性を示します。八千種地区では、福井谷遺跡や八千種庄文治遺跡で奈良時代の須恵器の窯跡や祭祀に関係すると考えられる遺物が見つかっています。中世になると町内には田原荘・高岡荘・薗山荘が成立します。市川町・加西市・福崎町にまたがる高峰山城、八千種地区の春日山城、姫路市香寺町にまたがる高橋城が築かれます。

加治谷藪下五反畑遺跡竪穴住居

加治谷藪下五反畑遺跡竪穴住居のカマド

大門岡ノ下遺跡竪穴住居

福井谷遺跡出土土馬
祭祀に使用されたものと考えられます。

西治下代ノ下モ遺跡
弥生時代後期から末期、古墳時代中期から後期の竪穴住居が見つかっています。

妙徳山古墳石室
社太夫横穴式石室を中に入って体感することができます。

福井谷遺跡出土仏像
奈良時代の作とされる仏像です。衣文の彫りが美しいようです。

八千種庄文治遺跡出土土器
須恵器に幾何学が施されていることから東諸出土の可能性があるものです。

●総距離＝約2km ●所要時間＝約40分

Ⓐ 山崎地区コース

神崎郡の地名由来となった神前山南の麓に位置する山崎地区。『播磨国風土記』がつくられた時代を体感できるコースです。

おすすめ探訪コース　スタート／ゴール 二之宮神社
❶二之宮神社 ➔ ❷旧小國家住宅 ➔ ❸朝谷1号墳 ➔ ❹妙法寺梵鐘 ➔ ❺立石の石棺・❻大杉兵太郎頌徳碑 ➔ ❼大塚古墳

❶二之宮神社
祭神は天棚市伊和神社の神の御子、建石敷命です。播磨国風土記にゆかりのある神前山の南麓にあり、秋季例大祭には13台の祭屋台が集まります。なかでも本宮の「13台サラメ練り」は見どころです。

❷旧小國家住宅（国登録文化財）
江戸時代に庄屋を務め、幕末から明治にかけて活躍した、小國鐵十郎生家として知られます。また、地域医療に貢献した鐵十郎の孫である小國儀治の生家でもあります。

❸朝谷1号墳（町指定文化財）
南北14m以上、東西13.2m以上の円墳です。石室の全長は8.4m、高さは中央部で1.63mを測ります。墳丘や石室がほぼ完存しており、旧神崎郡*の中でも長い石室を持つ古墳のひとつです。

※旧神崎郡:現在は神河町・市川町・福崎町の3町で神崎郡と言いますが、今から1,300年ほど前の古代の郡の基盤でも神前郡と呼ばれる地域がありました。古代の神前郡には、3町のほか、姫路市香寺町・山田町・鹿沼町・船津町・砥堀・朝来市生野町を含んだ範囲と考えられています。

❹妙法寺梵鐘（町指定文化財）
総高121cm、口径70cmの梵鐘です。銘文は、江戸時代の明暦2年(1656)に妙法寺の日蓮上人の依頼により、日豊上人が鋳造したもので、文は弟子の元政上人が起草しました。梵鐘の鋳造者は京都釜座の藤原国次で、釜座の有力な鋳物師です。観時中に供出を強要されながらも当時の文部大臣に美術品認定を願い出て難を逃れたものです。

※見学については妙法寺へお問合せください。(Tel.0790-22-1088)

❺立石の石棺
家形石棺の蓋です。山崎字立石に所在し、小字名の由来となっているため古くからこの地にあったものと考えられます。

❻大杉兵太郎頌徳碑
神西郡山崎村(現福崎町山崎)出身の大杉兵太郎は、副戸長、戸長を経て郡役所の郡書記になり、45年間公職を務め地方行政に大いに貢献し、明治37年には正八位勲八等瑞宝章を受章しました。また、「晩香」の号を持ち、詩や和歌を多く作っています。碑文を同郷の三上参次が著し、井口出身の日本画家藤本節二(燈詠)が書き記していることは文化人としての交友関係を如実に表するものです。

神前山の麓座
ねさそり300年前につくられた『播磨国風土記』に、宍粟市にある伊和神社の神様の子供である建石敷命がこの山に降りたち、神様がいる山というこの神前山と呼ばれ、『神崎郡』の由来になったと書かれています。二之宮神社の裏山の山上には、建石敷命が降りたったとされる大きな岩「磐座」があります。

❼大塚古墳（町指定文化財）
墳丘約30mの円墳です。石室の構造は、片袖式の横穴式石室で、全長12.3m、高さ1.7mの大きさです。須恵器の提瓶が見つかっており、6世紀後半につくられたと考えられます。

●総距離＝約2.7km ●所要時間＝約60分

Ⓑ 福田・高岡コース（神谷・長野）

『播磨国風土記』の「高岡里」にあたり、遺跡が多く眠る地区。太古の時代に思いを馳せながら、寺社や古墳を巡るコースです。

おすすめ探訪コース　スタート／ゴール 福崎町スポーツ公園 または 誓王寺
❶福田墓地の石棺 ➔ ❷宮山古墳 ➔ ❸固寧倉 ➔ ❹長野墓地の石棺 ➔ ❺神谷古墳 ➔ ❻誓王寺の石棺

❶福田墓地の石棺
石棺の身が逆さになった状態で設置されており、外部に3本の縦が彫刻されているという特徴があります。
(現在はセメントで覆われています。)

❷宮山古墳
大歳神社の境内に石室の一部が確認できます。『福田遺跡群』のうちのひとつで、他に上垣内古墳、東大谷古墳、小山古墳が知られています。

❸固寧倉
江戸時代、姫路藩では飢饉や災害に備えて、米や麦などを蓄えた固寧倉が各地につくられていました。福田地区の固寧倉は、町内で唯一現存しているもので、かつては大歳神社鳥居南の地にありましたが、明治20年頃現在地に移築されました。

❹長野墓地の石棺
東光寺地北の墓地の中にあり、石棺の蓋石が立てられている状態です。家形石棺で、奈良県橿原市にある菖蒲池古墳から出土した石棺の形とよく似た菖蒲池型石棺と呼ばれる形をしているとの特徴があります。石棺内部の平面部が一段高くなっており、斜面が内側しているとされ観察できます。文字が彫られている面は内側で、後世に二次利用されたものです。

斜め後ろ(背面)から　　正面(内側)から

❺神谷古墳
誓王寺の境内にあり、墳丘の大きさは約20m で、横穴式石室を有しています。石室内には多量の土砂が流れ込んでいますが、石室は良く残っている状態で、長さは11.1mです。

❻誓王寺の石棺
現在は墓の基礎にされています。家形石棺の蓋石です。

誓王寺のササユリ(見頃時期=6月上旬～6月中旬)

※福崎駅から徒歩で探訪可能です。

●総距離＝約2km ●所要時間＝約40分

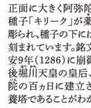
Ⓒ 神積寺周辺コース

播磨天台六箇寺のひとつに数えられる古刹神積寺。古墳時代から中世に至る神積寺の文化財を中心に巡るコースです。

おすすめ探訪コース　スタート／ゴール 神積寺駐車場
❶妙徳山遺跡の石棺 ➔ ❷阿弥陀種子板碑 ➔ ❸神積寺本堂 ➔ ❹石燈籠 ➔ ❺妙徳山古墳 ➔ ❻恬真院唐門 ➔ ❼東広畑古墳 ➔ ❽東新田古墳 ➔ ❾石造五重塔

❶妙徳山遺跡の石棺
妙徳山遺跡から出土した石棺を移築したものです。

❷阿弥陀種子板碑（県指定文化財）
正面に大きく阿弥陀如来の種子(キリーク)が薬研彫で彫られ、種子の下には銘文が刻まれています。銘文から弘安9年(1286)に崩御された後嵯峨天皇の皇后、安喜門院の百ヵ日に建立された供養塔であることがわかります。



❸神積寺本堂（町指定文化財）
神積寺は播磨天台六箇寺のひとつに数えられる古刹で、正暦2年(991)に慶芳上人によって開基され、一条、三条両天皇から篤い帰依をうけたと南北朝時代に成立した『峯相記』に伝えられています。本堂は正面5間、側面7間で、正面に1間の向拝をつけ、背面に後戸が軒下に張り出していっている、本瓦葺きの入母屋造です。建築年代については、棟札や文書資料などから確認することはできないものの、建築様式から寺伝のとおり天正15年(1587)とみられます。改造はあるものの、当初の形式をよく残しています。築構の特徴や地元大工の特徴的な意匠を もつなど、優秀な中世仏堂形式の仏堂であり、町内に現存する最も古い大規模仏堂として貴重な文化財です。

❹石燈籠（町指定文化財）
竿の部分に銘文が刻まれており、寄進された年代や理由が刻まれています。銘文から、北山田村(現姫路市)の助左衛門が同郷の善提を弔うために、天和3年(1683)に寄進したことがわかります。

❺妙徳山古墳（県指定文化財）
神積寺の境内にあり、直径約35mで2段構築の円墳で、全長約12.4m、高さ3.2mの横穴式石室は、市川流域にある古墳の中でも最大級のものです。6世紀末頃につくられたと考えられています。

❻恬真院唐門（町指定文化財）
神積寺の院のひとつである恬真院の門です。総高4.5mの本瓦葺きで、落ち着きがあり、唐門らしい開放感と風格を見ることができます。江戸時代中期に建てられたものです。

❼東広畑古墳（町指定文化財）
墳丘が約16mの円墳で、全長10.3mの横穴式石室を有します。多くの出土遺物が知られており、銀象嵌大刀や銅鈴付須恵器が副葬されていたことが特徴です。

※石室入口は異動してあります。

❽東新田古墳（町指定文化財）
「つぶれ塚」とも呼ばれており、石室には天井がなく一部しか残っていません。直径約16mの円墳で、多くの鉄器や土器が出土しています。

❾石造五重塔（県指定文化財）
神積寺を創建した慶芳上人の墓と伝えられています。総高241cmの凝灰岩製で、軸部の3面には薬研彫で種子が刻まれ、残りの1面には墨書の痕跡が確認されています。鎌倉時代中期のものと考えられています。

※東広畑古墳に車1台分の駐車場があります。

●総距離＝約4.4km ●所要時間＝約90分

Ⓓ 八千種コース

中世、播磨を治めた赤松氏の配下後藤基明が築城の春日山城が所在する八千種地区。春日山城や石棺などの石造物を中心に巡ります。

おすすめ探訪コース　スタート／鍛冶屋公民館 ゴール／春日ふれあい会館
❶西邦寺の石棺 ➔ ❷常住寺 ➔ ❸クロガネモチ ➔ ❹余田大歳神社 ➔ ❺御旅所(浄舞) ➔ ❻小倉の石棺 ➔ ❼春日山城跡 ➔ ❽かくしほちょじ

❶西邦寺の石棺
西邦寺境内に立てられている家形石棺の蓋石で、かつては水田の用水路に橋として使用されていたものを現在地に移設したものです。縄目突起が確認できます。

❷常住寺
山号は宝生山、本尊は釈迦如来、通称「釈迦堂」で知られており、8月14日には釈迦会が開催されます。宝篋印塔などの石造物があり、春日山城主後藤基信の祈願所であったと伝わります。

❸クロガネモチ（町指定文化財）
鎮雲寺境内にあります。町木であり、樹高が約13m、町内最大の雌木です。また、町の保存樹でもあります。

クロガネモチの実(見頃時期=11月ごろ)

❹大歳神社（余田）
八千種地区の郷社で、春日山城主後藤基明に篤く祀られていたと伝わります。秋季例大祭では八千種地区3台の祭屋台が集まり目が惑われると屋台に電飾が付けられ境内で練り合わせが行われます。

❺御旅所（浄舞）
毎年八千種の地区で順番に神輿渡御が行われ、町指定文化財である浄舞が奉納されます。

❻小倉の石棺
小倉地蔵庵跡にあるくり抜き石棺です。

❼春日山城跡（西邦寺東登山口から山頂まで15分程度）
春日山城は、建武年間(1334～1336)の築城とされ、後藤基明が初代城主と伝えます。後藤氏は、播磨の守護赤松氏の幕下とわれ、応仁の乱(1467年～)では、赤松政則の部下として出陣し、山名氏の軍勢を破って軍功をたてたとされます。天正の頃の城主は後藤基信とされ、天正6年(1578)、春日山城は羽柴秀吉の播磨攻略のときに落城し、基信は自刃したと伝えます。標高198mの山頂には、曲輪(城郭内で建物が置かれたり、兵が駐屯したりする平坦地)などの城郭遺構が残っています。

鍛冶屋公民館に建てられた「ほちょじ」。

❽かくしほちょじ（県指定文化財）
一般的には「とんど」として知られる行事で、毎年成人の日の前日から成人の日にかけて鍛冶屋地区の全戸が参加して行われます。西家から始まり、板渡しの縄、ほちょじ隠し、無言の行、きつね追い、ほちょじ探しとんど焼き複数の行事から成ります。輪番で「とう」「とうの親」「とうの親の親」等の役割が決められ、その氏名は「順番帳」に毎年記載されており、確認できる最古のものでは始20年のものがあることから、少なくとも130年以上継承されていることがわかります。

※新規する年もあります。